

第4回 ネパール野球紹介活動 活動報告書

2001年2月16日～2001年3月4日

プール学院大学

野球を広める会

ご 報 告

皆様から温かいご協力を頂きまして真にありがとうございます。

お陰さまで、2001年2月16日~2001年3月4日の期間、ネパール・ポカラ市にあるアマ・シンセカンドリースクールにて第4回ネパール野球紹介活動が無事終了してまいりました。

その時の活動報告をさせていただきます。

参加メンバー

- ・アマ・シンセカンドリースクールの生徒 31名
- ・指導者
 - プール学院大学 大学院（男性） 1名
 - プール学院大学 学部生（男性） 4名 （女性） 1名
 - 関西大学 学部生（男性） 2名
 - 龍谷大学 学部生（男性） 1名
- ・マネージャー
 - プール学院大学 学部生（女性） 2名
 - 関西大学 学部生（女性） 1名
 - プール学院大学短期大学部 卒業生（女性） 1名

今回の活動目的は、①アマ・シンセカンドリースクールの野球メンバーの技術アップを図る。②現在野球交流を続けているアマ・シンセカンドリースクールの子供達に野球ルールを完全に理解してもらう。③現地ネパールでこの活動の宣伝・広報活動を行う。以上が主な目的です。

今回も前回と同様、全ての参加メンバーが事前研修活動として、街頭募金、ネパール語の勉強会、野球の練習、ネパールにおける社会及び社会問題の勉強会、等を行いました。

その後ネパールへ向け出発しました。

まず初日は、活動先であるアマ・シンセカンドリースクールで、今まで子供達どうして行っていた野球の試合を見せてもらいました。

その後、子供達に「私達とどういった練習がしたいか」と訪ねたところ、「日本チーム対ネパールチームの試合がしたい」という意見が多かったので、試合をできるだけ多く行いました。（活動日程はスケジュール表の面に記載しています。）

試合結果は、いつも日本チームが勝利で終わっていましたが、試合内容はいつも充実し、ルールが理解されていないと感じたときは、随時試合を中断して説明しました。また、1日中雨だった日が1日だけあり、その日を利用して教室で野球ルールの説明等を行いました。そこで、子供達からたくさんの質問を受けました。

このような活動を通して、最終日には野球ルールの誤りを発見することができないほど理解してもらえようになりました。

練習は、守備練習では内野・外野に分かれてノック練習、打撃練習はピッチャーを入れたフリーバッティング練習、走塁練習はランニングゲームを通した練習、を中心に行いました。

宣伝活動に関しては、地元ボランティア団体（ESODEC）の協力もと、地元新聞紙に掲載していただきました。その他、最終日にはポカラ市長、そして他学校の校長先生に野球をしている様子を見ていただき、ポカラ市での野球普及活動に協力してほしいといった話をいたしました。その後ポカラ市長及びアマ・シンセカンドリースクールから感謝状を頂きました。

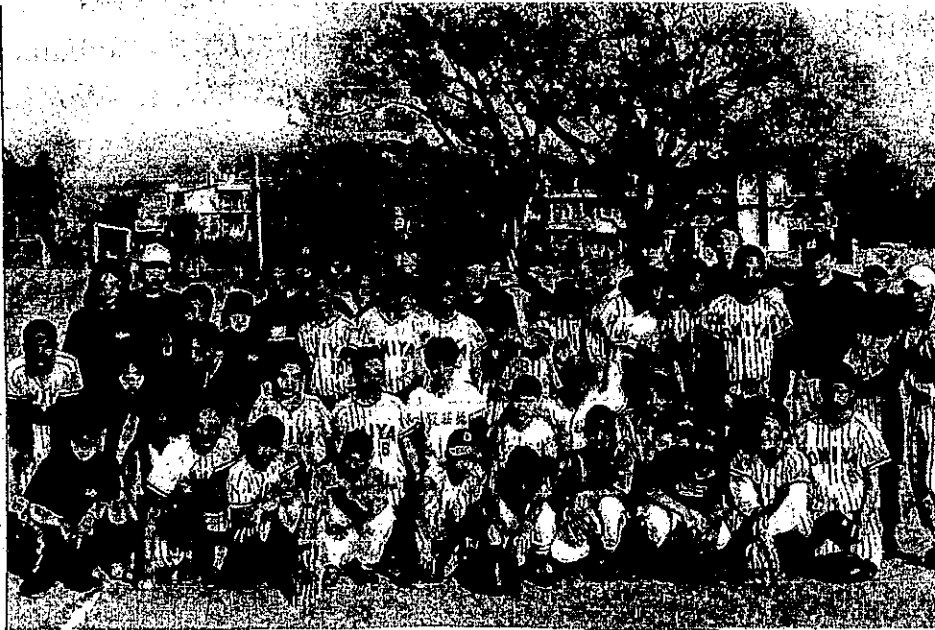
その他、ネパールの文化を少しでも知りたいというメンバーの希望から、活動のない夕方に3回ネパ

ールのダンスを習いました。

以上のようなかたちで、今回の目的はほぼ達成することができました。

メンバー一同は、カトマンズで福祉施設見学等の後、無事帰国して参りました。

また、私達のメンバーである園田健也(21)がメンバー帰国後、1週間滞在を延長し、現地で子供達に指導を行ってきました。(その時のお話は後に載せさせて頂いています。)



感想

今回の活動で印象深かったのは、私達と試合を重ねるなかで、子供達がいいところを盗もうと注意深く観察し、まねをしていたことです。そして、アマ・シンセカンダリースクールの野球メンバーの子供達は、目に見えて実力がついていきました。

また、「試合に勝つためにはどのような練習をすればよいのか」といった積極的な質問も数多くきかれ、試合に勝つことの喜びを少しずつ理解してもらっているのだ、ということを実感しました。

現在では、子供達の中に、日本の中学生野球選手のレベルに達しているのではないかとという選手も現れてきています。あまりにも上達していたので、「私達が来る前に自分達で何か練習していたの?」と子供達に訪ねると、「毎日練習していたよ」「毎朝ランニングしていたよ」「ピッチング練習をしていたよ」といった嬉しい答えがたくさん返ってきました。

今回は、6人の新メンバーを迎え、全体で31人とメンバーを拡大し野球活動を行ってきました。一方で、今年で学校を卒業するため野球活動に参加できないというメンバーが5名でできました。彼らはみんな第1回目の活動から「ネパールで野球を広めたい」とここまで活動を共にし、練習を重ねてきました。彼らの野球を広めたいという希望も無にすることのないよう、共に相談していかなければならないと考えています。

お陰さまで、第4回目の活動を無事終えることができました。今回で2年半目を迎えたことになりましたが、子供達の中から「野球を皆に教えたい」、「他学校のチームと試合がしたい」といった声をあちらこちらで耳にするようになってきました。

「野球からでる笑顔」が広がるようにこれからも活動してまいりますので、皆様からのご協力よろしくお願い致します。

ネパール野球活動メンバー インタビュー



赤松 弘章 (23) プール学院大学

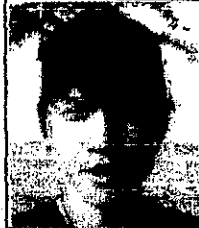
趣味：野球・サイクリング・園芸

今回で2年が経ちましたが、子供達がとても上達していたので感動すらおぼえました。子供達が喜んで野球をやっている姿を見れていつも幸せになります。この活動に携わって、色々な面でたくさんの事を学びました。これからどうすれば野球が楽しく広がるかを常に考え活動を進めていきたいと思います。



田中 剛史 (22) プール学院大学 (初参加) 趣味：野球・アウトドア

言葉の通じない外国で、無い物を広める事で交流をするという感動がありました。良い経験と、かけがえのない友情、そして目標が得られ後に活かしていけたら良いと思いました。目指すはオリンピック参加。野球を広めるための環境作りに励みたいです。色々な人々の協力でこのネパール野球活動があるのだと感謝しています。



多田 和弘 (22) 龍谷大学 (初参加) 趣味：散髪・ゲーム・シール集め

壮大なヒマラヤの下でキャッチボールを楽しめた事が幸せでした。子供達が素直で目が輝いていたのが印象強かったです。自分とネパールの人々の間に言葉の限界があることを感じました。ネパールに球場ができてほしいです。そして球場の管理人になりたい！これからも野球を広めていく為、全力でがんばります！



佐原 啓太 (21) プール学院大学 (初参加) 趣味：編み物

今回は初めての参加だったのですが、ネパールという国やアマシンセカンダリースクールの子供達の魅力に引き込まれました。今回一緒に行った仲間達に出会えた事を誇りに思い、偶然の素晴らしさを知りました。絶対またネパールに行きたいです。今回のであった全ての人に感謝、感激、雨あられ。



園田 健弥 (21) プール学院大学 趣味：バスフィッシング

子供達が野球を続けているか心配でしたが、非常に上達しているのに驚きました。生徒達に前よりもうまくなろうという意気込みを感じました。今回は一人で残り活動を続けて子供達と接する時間が長く、それもまた非常に楽しかったです。もっと細かい練習を教え、他の学校へ野球を広めたいです。生徒達に協力してくれる方々に「ありがとう」と伝えてと言われました。



小西 雄希 (20) 関西大学 (初参加) 趣味：水泳・野球

行く前はどんな感じが不安と期待でいっぱいでしたが、現地の子供たちの笑顔や優しさに触れ、本当に良かったです。その中でたくさんの友達ができ、これからも子供たちに会いに行き成長ぶりを見たいです。僕は野球初心者だったので次は、子供たちに尊敬されるようなプレーを出来るよう練習したいです。このような貴重な体験をサポートしてくれた皆様に感謝します。



木崎 孝昭 (20) 関西大学 (初参加) 趣味：スキューバダイビング・野球

街が想像していたより発達していたのに驚きました。行く前は何もわからないまま行きましたが、行ってみて子供達の目の輝きが素晴らしいかったです。ネパールの友達と言葉の壁を乗り越えられた気がします。教えた子がオリンピックに出場してほしいです。そこまでのレベルになってほしい。協力してくれた方々にも、今度は是非一緒に行行って実際に見てください。



藤岡 恭兵 (20) プール学院大学 (初参加) 趣味: 野球

ネパール人は考え方が違うと思ったけど、日本の子供と考えは同じだったので、親しみが湧いてやりやすかったです。違う野球の楽しみ方を発見し、さらに野球が好きになりました。大人から子供まで野球ができるようになって大会が出来るようになってほしいです。野球を続ける環境が早くできればなあ。この活動は、皆様の協力なしでは始まらなかった所以感謝します。



桂田 葉名 (21) 関西大学 趣味: ポケモン (ゲーム)

前よりも子供たちと仲良くなれた感じがしました。みんなが上達していたので楽しい野球より、上手くなる野球をしたい様に見えました。次回、また参加できるとは限らないので、その時その時を大切にしようと思いました。マネージャーとして、プレーヤーとは違った角度の見方も大切にしたい方がよいので、そういうもことも伝えていきたいと思います。子供の喜んでる姿を是非見てください。



三上 真里奈 (21) プール学院大学 趣味: 写真

文化や言葉が違っても、子供達の野球を楽しむ姿は日本と変わらないと思いました。自分自身の事をゆっくり考える時間を持つことが出来ました。これからネパールの街角で普通にキャッチボールをしている姿が見られるひがくることを願っています。子供たちは感謝の気持ちを持っているので機会があれば一度野球をする姿を見て下さい。



宮田 春香 (21) プール学院短大卒業生 趣味: ネパールダンス

ネパールは今回で4回目で、野球は2回目の参加でしたが、前回と違って、子供達がとても上達していたので驚きました。私たちの事を待っていてくれたのがとても嬉しかったです。良い人間関係が築けたと思います。子供達も感謝の気持ちを持っているので機会があれば、一度野球をする姿を見て下さい。



飯 一季 (19) プール学院大学 (初参加) 趣味: お菓子作り・ボール拾い

ネパールで生き生きと野球している子供達の姿を見て私自身も励みになりました。今回の活動で、野球を教える事の難しさや楽しさ、子供達の感性など多くの事を学びました。これからも活動に参加していき、子供達と同じ目線で向き合い、子供達の意見を尊重して楽しい野球を伝えていけたらいいなと思います。これからも御協力よろしくをお願いします。



中本 浩恵 (19) プール学院大学 (初参加) 趣味: 映画鑑賞・水泳

子供達が野球を学びたいという気持ちが強かったのが印象強かったです。違う国でも日本人と性格が似ている所もあるし、似てない所もありました。子供たちには野球を続けてほしいと思います。ネパールの人々に少しでも広がってくれば幸せです。皆様のご協力がなければ出来なかったと思います。暖かいご協力まことにありがとうございます。

ありがとうございました！

質問内容

①なぜ野球を始めようと思ったのですか？②野球の何が楽しいですか？③投げる、打つ、走る、の3つの中で1番楽しいのはどれですか？④③で選んだ理由は何ですか？⑤将来どんな選手になりたいですか？⑥野球の何が難しいですか？⑦どんな時、練習を休みたいですか？⑧野球をやめたいと思ったことはありますか？⑨練習と試合どちらが楽しいですか？⑩⑨で選んだ理由はなんですか？⑪ネパールで野球を広めたいですか？又、他の学校に教えに行きたいですか？⑫協力してくれている日本の方々に一言。



ドウルガ ケイシー (16歳)
セカンド 3年目

①新しく面白そうなスポーツだから。②バッティング③バッティング④バッティングに自信があるから⑤ネパールでトップクラスの選手になりたい、そして自分のチームもトップクラスになりたい⑥けん制の時のセカンドの入り方⑦なし⑧なし⑨練習⑩練習をして試合に勝ったら楽しいから⑪はい、広めたいです⑫本当に有難うございます。



サンジェイ ランジェット
(15歳) サード 3年目

①新しいスポーツだから②バッティング③バッティング④点を多く取るのが楽しい⑤トッププレイヤーになりたい⑥低いゴロ⑦ない⑧ない⑨練習⑩もっと上手になりたいから⑪他の学校に教えに行きたい⑫協力してくれた方々にあって、ありがとうございます。



ナウラチ ブジュール (16歳) ショート 2年目

①非常に興味があったから②全部③バッティング④試合に勝つために最も重要だから⑤マグワイヤのようにになりたい⑥ファールかフェアかの判断⑦なし⑧なし⑨練習⑩もっと上手くなってから試合をしたい⑪広めたいです⑫1000個のありがとうを言いたい



シシル マンスレスタ (16歳) センター 2年目

①初のスポーツなので面白そうだった②バッティング



ビシャル グルン (15歳)
キャッチャー 1年目

①興味があったから②バッティング③バッティング④試合に勝つために重要だから⑤一流の選手になりたい⑥スイングの仕方⑦なし、毎日練習したい⑧なし⑨両方⑩両方楽しいから⑪広めたいです⑫道具を頂いて本当にありがとうございます



ローション マンシスタ
(15歳) キャッチャー 2年目

①興味があり体を鍛えたかったから②キャッチャーをしている時③スローイング④盗塁でランナーをアウトにした時⑤サミーソーサのようになりたい⑥ファールかフェアかの判断⑦なし⑧なし⑨試合⑩練習はしんどいから⑪はい⑫僕達は幸せです、ありがとう。



ニーラン グルン (15歳)
セカンド 1年目

①楽しそうだったから②バッティング③バッティング④打って走るのが楽しい⑤ネパール代表選手になりたい⑥スライディング⑦なし⑧なし⑨練習⑩もっと上手くなって試合に勝ちたいから⑪他の学校に教えに行きたい⑫ありがとうございます



ラジドゥ グルン (16歳)
ピッチャー 3年目

①新しいスポーツに興味を持ったから②ピッチャー、バッ

③バッティング④点を取るために重要だから
⑤走攻守そろった選手⑥ファールかフェアかの
判断⑦家の仕事の手伝いがあるとき⑧なし⑨
練習⑩もっと打てるようになりたいから⑪ポ
カラで野球を広げるために教えたいです⑫全
員に感謝しています。



ビシャル グルン (15歳)
ファースト 3年目

①新しいゲームに興味を持っ
たから②キャッチング③ランニ
ング④点をとるために走るのは
とても重要で楽しい⑤日本に行
って野球をしたい⑥スライディング⑦なし
⑧なし⑨練習⑩試合に勝つために練習が必要だ
から⑪野球をポカラで有名にしたい⑫ありがと
うございます。

ティング③バッティング④多く点を入れられる
から⑤トッププレイヤー⑥ピッチャーの正しい
投げ方、けん制⑦肘が痛いとき⑧時々ある、ス
トライクが入らないから⑨練習⑩試合に勝ちた
いから⑪教えたいですトッププレイヤーになり
ます。⑫ありがとう



ビクラム グルン (15歳)
センター 3年目

①色々なスポーツをしてみたか
った②全部難しいが全部たのし
い③ランニング④ランニングゲ
ーム⑤良く打つバッター⑥全部
⑦なし⑧なし⑨練習⑩試合でエラーをしたくない
から⑪教えに行きたいです⑫野球は僕の宝物です
とてもうれしく思ってます。



シャム クマルガレ (16歳)
ショート 3年目

①おもしろそうだから②ダブル
プレーをとったとき③スローイン
グ④ゴロでファーストへ速い球を
投げてアウトにしたとき⑤

どんな球でもアウトをとれるような名選手になり
たい⑥カバーの入り方や中継⑦なし⑧なし⑨練習
⑩上手になれるから⑪他の学校へ教えに行きたい
⑫ポカラに野球が広がるようにがんばります。



ゲヘンドラ グルン (15歳)
レフト、ピッチャー 4ヶ月目

①ネパールで初めてのスポーツ
なのでとても興味があった②ピ
ッチャー③スローイング④速い
球を投げる⑤佐々木投手の
ようになりたい⑥ピッチャーの投げ方⑦病気や
ひじが痛いとき⑧なし⑨練習⑩難しいが色々でき
て楽しい⑪たくさん広めたいです⑫とても幸せ
です。すべての人にありがとう、と言いたいです



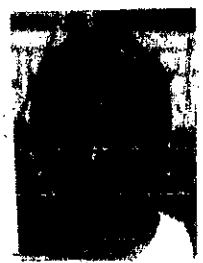
ジーバン グルン (16歳)
ピッチャー 2年目

①新しいスポーツをやってみたか
ったから②ピッチング③バッティ
ング④自分が打って点が入るのが楽
しい⑤ネパールのトッププレイヤー
になりたい⑥けん制の投げ方⑦なし⑧なし⑨練習⑩
練習をして試合に結果がだせれば最高⑪ありがと
うございます。



プルナ スッパグルン (13歳)
ライト 3ヶ月目

①たのしそだったから②キャッ
チング、バッティング③バッティ
ング④1番良くないから練習して
ると楽しい⑤ホームラン王⑥速い
球を投げる⑦ひじが痛いとき⑧上手くない
から嫌になる時がある⑨練習⑩もっとうてるよ
うになりたいから⑪教えたいです⑫ありがとう



ロックマン グルン (16歳)
レフト 4ヶ月目

①興味があったから②バッティング
② バッティング④遠くへ飛んだとき
⑤ホームランバッター⑥高いフライ
⑦なし⑧なし⑨練習⑩もっと上手く
なってから試合にでたい⑪はい⑫協力してくれた多く
の人々にありがとう、と言いたいです。



ヘマンタ マンスレスタ (14
歳) ショート 1ヶ月目

①兄がやっていて楽しそだった
から②ランニング③ランニング④
点が取れるから⑤国際的な有名な
選手になりたい⑥ストライクを投
げる⑦なし⑧なし⑨練習⑩上手くなりた
いから⑪はい⑫ありがとうございます。

市長からお話をしていただきました

2月28日、野球交流最終日に日本チーム（今回の参加メンバー）対ネパールチーム（アマシンセカンダリースクールの生徒）で試合をしました。その時、ポカラ市の市長においで頂き、試合を観戦して頂きました。



試合の後、市長から感謝状をいただくとともに、お話もしていただきました。

市長のお話

野球を教えに来ていただいたみなさまをはじめ、学校の諸先生方、ESODEC(ネパール社会教育開発センター)の方々には本当に感謝しています。

今日は楽しい試合に招待していただき、ありがとうございます。こんなに間近で試合を見たのは初めてでした。とても楽しく拝見させていただきました。

ポカラ市としても野球を広めていくため協力していきたいと考えています。これからもどうぞよろしくお願いします。

そのほか、他学校の校長先生方にも野球の試合を見学していただき、「私の学校でも野球交流をして頂きたい」とのご意見を頂きました。

私達の野球紹介活動が多くの中パールの新聞で紹介されました

ここで一部の新聞記事を一ツ紹介させていただきます。

NATIONAL DAILY

THE RISING NEPAL

GORKHAPATRA ROLLS A CENTURY INFORMING THE PUBLIC

KATHMANDU, FEBRUARY 26, 2001 (FALGUN 13, 2057) MONDAY

Baseball training camp

BY A STAFF REPORTER

Kathmandu

A 13-member team of students of the Osaka-based Poole Gakuin University has been providing baseball training to the students of Amar Singh Secondary School of Pokhara for the last two weeks.

led by Hiroaki Akamatsu, a student of the university, the student team has come to Nepal under an cultural exchange programme organised by Social and Educational Development Center (ESODEC), a social organisation working in the field of education and culture in the country.

A total of 20 students of Amar Singh Secondary School are participating in the baseball training programme. Two years ago, the students of the Japanese university started giving baseball training to the Nepalese students in Pokhara.

日本語約

THE RISING NEPAL 2001.2.26 (月)

ベースボール トレーニング キャンプ

大阪を拠点にしたプール学院大学の13名の学生が2週間にわたってボカラにあるアマシンセカンダリースクールの生徒に野球の練習を指導している。

大学(院)の学生の赤松弘章を中心に、プール学院大学の学生たちはESODEC(ネパール社会教育開発センター)により文化の交換留学のプログラムを編成し、ESODECは教育や国内の文化の分野で働いている。

合計20名のアマシンセカンダリースクールの生徒たちが野球の練習プログラムに参加している。2年前、日本の大学の学生がボカラでネパールの生徒に野球の練習を開始した。

市長からいただいた感謝状

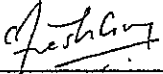
SHREE AMAR SINGH HIGHER SECONDARY SCHOOL
POKHARA, NEPAL

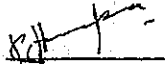
LETTER OF APPRECIATION

We are extremely grateful to Mr. / MR. HIROAKI AKAMATSU who belongs to the renowned 'Poole Gakuin University', Osaka, Japan and the 'Association for the Promotion of Baseball' for his / her invaluable voluntary service in teaching and training the students of our school the sport of baseball from 18th February to 28th February 2001.

We wish him / her a bright future, and hope that our relations will further consolidate in the years to come.

28th February 2001


(Mr. Mahesh Gurung)
PRINCIPAL


(Chief Guest - Mr. Krishna Thapa)
MAYOR
Pokhara Sub-Metropolitan City, Nepal

日本語訳

シリー・アマ・シン・ハイアー・セカンダリースクール
ポカラ・ネパール
※感謝状※

2001年2月18日から2月28日までアマシンセカンダリースクールの生徒達に野球を教えるという貴重なボランティア活動を行ってくださったことに対し、プール学院大学及び野球を広める会に所属しているみなさまにとっても感謝しています。

私達は、みなさまの明るい未来と私達の関係がこれからも固く結ばれていくことを望みます。

2001年2月28日

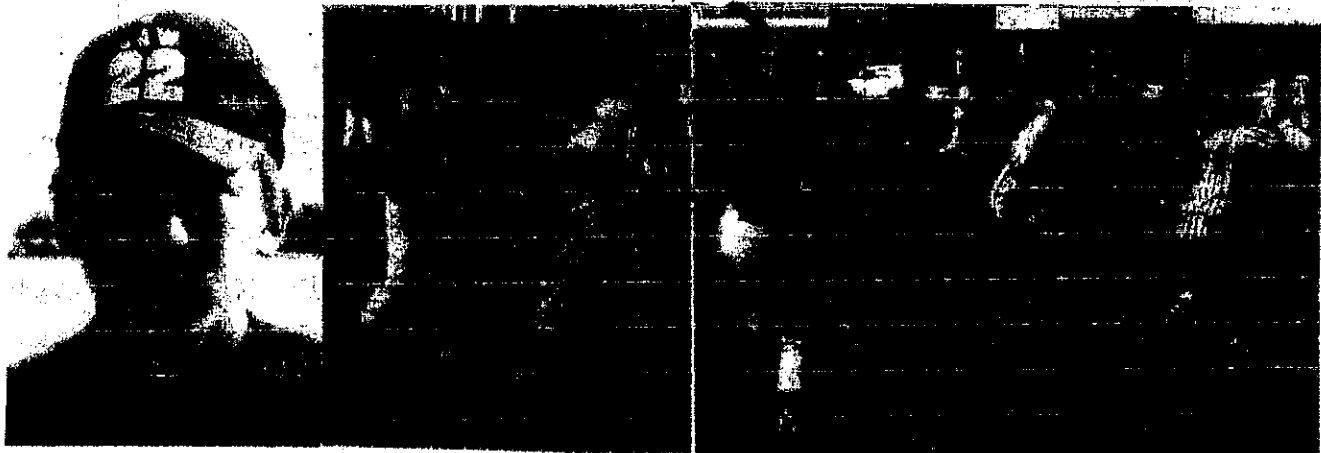
モヘシュ・グルン
(校長先生)

クリシュナ・タパ
(ポカラ市、市長)

一週間、一人での野球指導を終えて

プール学院大学 国際文化学部 4回生 園田健弥

第4回ネパール野球紹介活動終了後、ポカラに残り一人で生活しながら、アマシン、セカンダリースクールの子供達に野球指導を行って参りました。その時の活動報告をさせていただきます。



3月2日	朝 Mt.エベレスト ノック練習 (ランナー有り) 夕 ゴルカリ 上に同じ
3日	朝 Mt.エベレストvsゴルカリ 17対17 6回終了
4日	朝 昨日の試合の続き 40vs22 Mt.エベレスト初勝利
5日	朝 Mt.エベレスト 送球の基本 ノック練習 (ランナー有り) 夕 ゴルカリ 雨のためルール説明
6日	朝 Mt.エベレスト スイングの基本 バッティング練習 夕 ゴルカリ ノック練習 (ランナー有り)
7日	朝 ゴルカリ スイングの基本 バッティング練習 ランニングゲーム 夕 Mt.エベレスト バッティング練習 走塁の基本 ランニングゲーム
8日	朝 Mt.エベレストvsゴルカリ 17対25 ランニングゲーム

(朝は7:00~9:00、夕は16:30~18:00 Mt.エベレストはネパール語クラスチーム ゴルカリは英語クラスチーム)

感想

今回初めてネパールで一人で野球指導を行いました。

第4回ネパール野球紹介活動の活動中に教えきれなかった練習や細かいルールの説明を行いました。たった1週間という短い期間でしたが、その間、生徒達の実力は確実に上がり、練習後には生徒達から野球の質問まで受けました。このように生徒達のやる気が伝わり、僕も楽しく野球の指導ができました。

しかし、正直なところ1人で生徒達全体の様子を見るのには大変苦勞し、一人で教える難しさというものが解りました。特に、悩まされたのは言葉の壁で、生徒達の質問や要望を理解するのにはとても苦勞しました。

1週間の短い期間でしたが、生徒達と長く接することができ非常に良い経験になったと思います。

会計報告

今回の活動に伴う収支報告をさせていただきます。

収入		支出	
前回より繰越金	118,500	野球道具購入	208,932
街頭募金(H13. 2. 4)	105,708	第4回交流活動費	13,552
協力者の方々より	544,000	交際費	23,026
		雑費	8,549
計	768,208	計	254,059

尚、次回への繰越金は 514,149 円 です。

● 第4回紹介活動 募金のご協力を頂いた方々 (3月31日現在)

有村一夫様 岩坂正雄様 木川田一郎様 草竹和信様 小林哲也様 鶴野麻里子様 中山雄次様
 中山昌子様 橋本守様 松田浩志様 箕浦史郎様 宮川絢江様 宮川多美恵様 村瀬寿代様 室山
 皓之助様 (元阪神タイガース選手) 吉田義男様 (元阪神タイガース監督) D.M.ヒラチャン様 (ネ
 パール社会教育開発センター 会長) プール学院教職員の方々 プール学院ミヅパ会の方々 プー
 ル学院同窓会の方々 ネットワーク HITO 街頭募金にご協力下さった方々

(50音順)

● 第4回紹介活動 道具等のご協力を頂いた方々 (3月31日現在)

アスレックス BASEBALL CLUB 様 和泉サークルズ様 和泉市少年軟式野球協会様 いぶきの
 ボールパークズ様 オリックスブルーウェイブ様 幸ジュニアファイターズ様 小阪荘園子供会様
 ゼット株式会社様 南松ファイブスターズ様

(50音順)

● 第4回交流活動でネパールへ持参したもの

今回、アマ・シンセカンダリースクールへ寄付したものの、またこれからの活動のために預けてきた
 野球道具は以下の通りです。(運送につきましてはロイヤルネパール航空社にご協力頂きました。)

・グローブ40個 ・バット13本 ・ヘルメット12個 ・ゴムボール21kg ・キャッチャー道
 具3セット ・ユニフォーム(上12着、下13着) ・ホワイトボード1枚 ・ノート5冊 ・マ
 グネット20個 ・ライン代用ひも2本 筆記用具

ありがとうございました！！

現在もなお、野球道具、活動費用が不足しております。皆様のご協力をお願い致します。

・活動資金のご協力

三和銀行 船場支店 普通口座 3984578
 ネパール野球交流活動募金

・野球道具のご協力

〒541-0058 大阪府中央区南久宝寺町2丁目5-7

TEL: 06-6251-0485 FAX: 06-6251-0485 E-mail: nepalbaseball@hotmail.com

「野球を広める会」 代表 赤松 弘章

・野球を広める会ホームページ <http://nepalbaseball.tripod.co.jp>

ポカラでのスケジュール

	午前 7:30~10:00	午後 16:30~18:00
18日(日)	試合見学(ゴルカ人vs Mt.エベレスト) ルール説明(ワイルドピッチ時の盗塁・リードの取り方、振腿ガ)	自由レ(地元の方と) ネパールダンス・レッスン
19日(月)	内野ノック 外野ノック	試合(日本vsネパール) ルール説明(ファールとフェアについて)
20日(火)	バッティング練習	試合(日本vsネパール) 審判の説明(主審、塁審のジェスチャー)
21日(水)	お休み サラコトへ日の出を見に行く	ネパールダンス・レッスン
22日(木)	試合(日本vs イティース)	ネパールダンス・レッスン
23日(金)	試合(日本人・ネパール人混合)	
24日(土)	観光(滝、寺院など)	ネパールダンス・レッスン
25日(日)	外野、内野ノック、ピッチャー、キャッチャー 練習	雨のため室内でルール説明 (ストライクゾーン、バット・内野、外野の 進塁ルール)
26日(月)	試合(ゴルカ人vs Mt.エベレスト)	
27日(火)	内野、外野の進塁ルールを教えるノック ランニング・ゲーム シジダ・セカダリースクール訪問	お別れパーティー
28日(水)	フリー	試合(日本vsネパール)

- ・ 毎日の練習開始前には必ずウォーミングアップを行いました。
(アップ内容=ランニング2周、体操、キャッチボール)
- ・ 練習後には子供たちのアンケートを取りました。
- ・ 練習のある前夜にはミーティングを行いました。



ネパール野球写真集



試合の様子



ネパールで野球教室

夢は大きく 五輪出場だ

プール学院大生ら

年2回 訪問 「国内発展の活力に」

プール学院大学（大阪府堺市）の学生が中心になって、「ヒマラヤのふもと、ネパールで野球を広めよう」という動きが広まっている。キャッチボールから始まった「野球外交」は約一年半の活動を通じて、子供たちの間に浸透。ネパール全土への普及までは、まだまだ道のりは長い。支援の輪は関西大学や龍谷大学にも広がっている。「将来はネパールの五輪出場」と、学生たちの夢はでっかい。

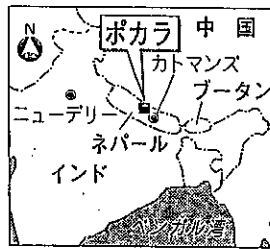


学生たちの指導で、野球に熱中するネパールの少年たち。牛がグラウンドを横切り、試合が中断することもあるが……



赤松弘章さん

「戦後日本の急成長は、野球が活力になっています。ネパールでも、野球が活力になれば……」
プール学院大学のサークル「野球を広める会」のネパール野球紹介活動グループ代表、赤松弘章さん（三）同大学院二年は熱く語る。
ネパール野球支援のきっかけは、平成十一年三月に同大学が実施した文化交流の海外研修。首都



カトマンズで赤松さんは当時の軟式野球部員たちが遊びでキャッチボールをした際、珍しげに眺

めるネパール人たちの姿があがっている。

そのとき、野球が普及していないことを知り、当初は「野球を広めると銅像が建つんじゃないか」と思ったという。

普及活動は、同年九月にスタート。ネパール第二の都市・ポカラ市内の

学校で、十代の少年たちにキャッチボール、打撃の基本指導やルール説明などから始まった。

ネパールで盛んなスポーツは、サッカーやクリケットなど。赤松さんらは年二回、現地を訪れ、「野球が楽しい」「バットにボールが当たる瞬間がうれしい」などの声が

あがっている。「子供たちは野球の楽しみを知り、最近では試合ごとでおどろきを感じているようになった。素直で吸収力が高いので、約八百坪の高地育ちなので、身体能力は日本人よりも高いと思う」（赤松さん）

指導にあたっているのはまだ一校、約三十人だけだが、別の学校にもネットワークを広げる方針で「今秋には大会を開催したい」と赤松さん。四月には、メンバーの花倉雄也さん（三）を現地に派遣して、野球普及のための組織作りなどを関係機関に働きかけるとしている。花倉さん

2001年
3月30日(金)
大阪新聞

- ・特別ルール（暴投、エラーなどの進塁の限定）
- ・試合 ネパール対日本 1対1.1（時間切れの為2回で終了）

感想

- ・今日は午前・午後ともに、すごく子供達が楽しそうにされていて、見ていてうれしくなった。試合も声が出ていたし、教えたことはもちろん、教えてないことまで実践して活かしているのを見ると、教えてる私たちも自信が出た。

今後への活力

- ・ネパールの子供達のなかには勝手な行動をとる子がいるので、どうやって集中力を持続させることが課題である。
- ・新メンバーにも注意がいき届くようにしたい。キャッチボールの時に新メンバーに付いて教える。
- ・移動の時なども、日本チームが率先してキビキビと動くことが必要である。
- ・子供達が勝手な行動をとったりした時は理由を聞いて厳しくしかることも大切。
- ・基本的には旧メンバーが新メンバーにルールを教えるようにする。

2001年 2月22日 野球

練習内容 午前

- ・ウォーミングアップ
- ・キャッチボール（日本チームの指導員が、新メンバーに、1人1人ついてボールの投げ方を教えた。）
- ・試合 日本対ネパール 4対1（時間切れの為試合終了）

試合の狙い

- ・子供達が、ルールを理解しているのか、確かめる為の試合。

感想

- ・試合では牽制や盗塁をするようになり、試合運びも早くなってきている、成長してきた。
- ・新メンバーもルールを解かってきたみたいだ。
- ・バッターによって、守備位置を換えるという考えたプレーをして、大きな当たりのフライを捕ったので驚いた。
- ・最初ネパールチームが日本チームを応援していたので、自分達の味方を応援させるようにしたら、その後盛り上がった。もっと日本チームに対抗心を持って欲しい
- ・子供達が1つアウトをとる度にうれしそうにしている。
- ・試合中の応援も大きかったので微笑ましかった。

明日への活力

- ・試合をすることで子供達の実力が上がっている。それは、私達が試合で勝ち続けることにより、子供達自身が上限つくらないように、上には上がいるということ解からせ、「もっと上手になりたい」という気持ちを芽生えさせる試みが、成功に近づいてる事を意味す

課題ではないだろうか。

試合の狙い

- ・ 良いプレーをするための試合なので、ひきしまった野球をするべきである。
- ・ 試合を通してルールを解らすべきである。
- ・ 真剣に試合をし、ぼろ勝ちをして力の差を見せましょう。

練習内容 午後

- ・ メンバーチェンジの仕方
- ・ ネパール対日本 0対3 (時間切れの為一回で試合終了)
* 18日、26日、28日の試合を除いて審判は、子供達が行っています
- ・ ルール説明 (フェアボールとファールボールの違い)

感想

- ・ 細かい野球のルールが解っていないが、試合をすることで子供達にも疑問が生まれ、その質問に答える。その方がルールも伝わりやすいように感じた。
- ・ 試合中、審判の判定が気になった。

明日への活力

- ・ 外野を越えた場合、暴投の時などの進塁を限定する。
- ・ 審判に関する説明が必要。
- ・ ルール説明時の子供達の態度が気になるけど、中心人物が聞いているので心配ないでしょう。
- ・ 子供達のためにも、練習中は、厳しく接する事も必要である。

2001年 2月20日 野球

練習内容 午前

- ・ ウォーミングアップ
- ・ キャッチボール
- ・ バッティング練習

感想

- ・ 子供達は、上半身の使い方が上手だけど、腰と下半身の使い方が解かっていなかったの
で、皆に腰のまわし方を教えたが、そんな簡単に出来る訳がないので苦勞した。
- ・ キャッチングやバッティングなどを、子供同士が教えあっているのがすごく良かった。
これが続くとまた良くなっていくだろうと思う。

連取内容 午後

- ・ ウォーミングアップ
- ・ キャッチボール
- ・ 審判の説明 (アウト、セーフ、その他もろもろの、ジェスチャーの仕方)

ピッチャーとキャッチャーは別で個人練習

感想

- ・外野のノック練習は、前半は盛り上がるが後半は少しだらけてしまったのが残念だ。
- ・内野ノックは初めよりも上達して驚いた。特に、ダブルプレーが成功するようになってきた。又、捕球、送球も上手になってきた。
- ・ピッチャーはとりあえず変な癖がつかないように一人ずつ悪いところを直した。問題はみんなひじが痛いといっていたので、ゆっくり投げさせた。
- ・キャッチャーは捕球の仕方、ショートバウンドの捕球の仕方を教えた。そしてキャッチャーとはルールを1番野球のルールを理解していなければならないポジションであり、キャッチャーのエラーは得点につながるということを教えた。

練習内容 午後

- ・ ルール説明（雨のため）
- ・ ストライクゾーンの説明、バッターボックスの立つ位置の説明、バントの説明（送りバント、セーフティーバント、スクイズ、）ボールが外野に飛んだ時の内野の動き方、カパーの入り方、ダブルプレーのとり方、ファールかフェアかの判断、タッチアップの説明。

感想

- ・ ルール説明の時、生徒達は非常に集中して聞いているのが良かった。またみんな理解していたのは最高だ。
- ・ 生徒達から質問したり、生徒同士で議論しあったりしていたのが非常に良かった。クイズ形式で質問したので全員が考えて、様々な答えがでてよかった。

2001年 2月26日 野球

練習内容 午前

- ・ ウォーミングアップ
- ・ キャッチボール
- ・ 試合 ゴルカリ対Mt. エベレスト 19対9（時間切れのため5回終了）
*白線の代わりに白い紐を使いました。

試合の狙い

- ・ 今まで学んだ事を活かして頑張りましょう。メンバー全員がでれるようにしましょう。攻守交代を素早くしましょう。

感想

- ・ 試合は、ネパール対ネパールの方が面白いのではないかな。
- ・ 守備（ベースカパー）も上手くなってきており、走塁などもとても良くなっていた。
- ・ 試合の時に、どっちを応援したらいいか、迷って、困ったので、どちらのチームにもついて、応援するのが最善だと思います。
- ・ ビデオを撮るときに、実況を入れた方が良い感じだった。

練習内容 午後

- ・ ウォーミングアップ
- ・ キャッチボール

るのではないだろうか。また、試合に出ていない子供達にも、チームの一員として応援するように、ネパールチーム側にマネジャーが入り率先して声を出すことにより、試合も盛り上がるようになってきた。

2001年 2月23日 野球

練習内容 午前

- ・ ウォーミングアップ
- ・ キャッチボール
- ・ ルール説明（メンバーチェンジは、審判、記録係に申告。特別に、昨日試合にでた人も、試合に参加して良い。）
- ・ 日本チームにメンバーを下さい。（日本メンバーに、病気により欠員が出たため）ゴルカリ、Mt. エベレスト両チームから3人ずつ、計6人。
- ・ 試合 日本対ネパール 10対9 （昨日の試合の続きを行った為、3回から始め、5回に時間切れのため終了）

練習内容 午後

- ・ ウォーミングアップ
- ・ キャッチボール
- ・ 試合 日本対ネパール 17対12 （午前の試合の続きを行った為、6回から始め、7回に時間切れのため終了）

感想

- ・ 上達するのが解った。練習を活かしていた。審判のジャッジのジェスチャーが中途半端でスコアをつけるときに困る。
- ・ 審判をやる子がいまいちストライクゾーンを解っていないので野球自体が面白みがなくなる。
- ・ 良いところも悪いところもでていてよかった。盗塁やベースカバーが出来ていて驚いた。
- ・ キャッチボールの時や試合の時に個人的に接することが出来てよかった。
- ・ 子供達が日本語に興味を持っているから、変な日本語を教えないようにように。

明日の活力

- ・ 日本チームに入ってもらった6人は、今日一日だけで著しい成長が見られた。これからは、試合の時に何人かずつ子供達を、日本チームに入れたらいいのではないかな。

2001年 2月25日 野球

練習内容 午前

- ・ ウォーミングアップ
- ・ キャッチボール
- ・ 内野、外野、2つに分かれてノック練習

- ・ バッティング・バント練習

感想

- ・ バッティング練習時に守備がだらけるので、しっかり目を行き届かせなければならない。
- ・ バッティング（バント）練習では、球数（打つ7球、バント3球）を決めて行っていたのですが、守らない子がいるので、注意しましょう

2001年 2月27日 野球

練習内容 午前

- ・ ウォーミングアップ
- ・ キャッチボール
- ・ （実践形式での）守備練習
（Mt. エベレスト、ゴルカリに別れて、ランナーを加えての守備練習を行った。）
- ・ ランニングゲーム
（Mt. エベレスト、ゴルカリに別れて、日本チームがそれぞれに別れて加わった。）

感想

- ・ タッチアップを解っていない子がいた。
- ・ 旧メンバーは、ランナー・守備の動き方を理解しているが、新メンバーは理解していない人もいた。
- ・ 生徒同士の間でも声を出し合っていたし、とてもいい試合だった。

明日への活力

- ・ 明日最後の試合なので、今まで練習した成果を見せましょう。

2001年 2月28日 野球

練習内容 午前

- ・ ウォーミングアップ
- ・ キャッチボール
- ・ 試合 ネパール対日本 1対1 1 （時間切れのため一回で終了）

終了式

- ・ 市長のスピーチ
- ・ ESODECの副会長のスピーチ
- ・ 生徒代表 シス
- ・ 日本チームに感謝状贈呈
- ・ 試合 ネパール対日本 4対1 1 （試合の続きで、時間切れのため2回で終了）

感想

- ・ 市長、各学校の校長先生、ESODECの幹部の方々や、大勢の生徒の前で試合をしたために、緊張して、子供達が本来持つてゐる力を、十分に発揮することが出来なかったのが残念です。しかし、これを機に、彼らは、また一段と上手くなり、野球に励むことを願っています。

ネパール野球紹介活動メンバー

赤松 弘章（23） プール学院大学

多田 和弘（22） 龍谷大学 （初参加）

田中 剛史（22） プール学院大学（初参加）

桂田 葉名（21） 関西大学

園田 健弥（21） プール学院大学

三上 真里奈（21） プール学院大学

宮田 春香（21） プール学院大学

木嵯 孝昭（20） 関西大学

小西 雄希（20） 関西大学

藤岡 恭兵（20） プール学院大学

巖 一季（19） プール学院大学

中本 浩恵（19） プール学院大学

報告者

佐原 啓太（21） プール学院大学